

新たに保護対象に追加する意匠に関する 審査運用等について

- 1. 物品の機能を確保するために不可欠な形状等のみからなる意匠の審査の現状**
2. 内装デザインの保護に関する審査の運用のイメージ

- 既に標準化された規格の形状をほとんどそのまま表したに過ぎない意匠は、意匠登録の要件である**新規性（意匠法第3条1項各号）・創作非容易性（意匠法第3条2項）**の要件を満たさず、登録されない。
- 物品の機能を確保するために不可欠な形状のみからなる意匠は、意匠法第5条第3号の不登録事由に該当する。

意匠法

第五条 次に掲げる意匠については、第三条の規定にかかわらず、意匠登録を受けることができない。

- 一 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがある意匠
- 二 他人の業務に係る物品と混同を生ずるおそれがある意匠
- 三 **物品の機能を確保するために不可欠な形状のみからなる意匠**

意匠審査基準

41.1.4.1 物品の機能を確保するために不可欠な形状のみからなる意匠と認められるものの類型
以下の、いずれかに該当する意匠は、物品の機能を確保するために不可欠な形状のみからなる意匠と認められる。

- (1) 物品の技術的機能を確保するために**必然的に定まる形状(必然的形状)**からなる意匠
- (2) 物品の互換性確保等のために**標準化された規格により定まる形状(準必然的形状)**からなる意匠

1. 物品の機能を確保するために不可欠な形状等のみからなる意匠の審査の現状
2. 内装デザインの保護に関する審査の運用のイメージ

意匠法

第三条 工業上利用することができる意匠の創作をした者は、次に掲げる意匠を除き、その意匠について意匠登録を受けることができる。

- 一 意匠登録出願前に日本国内又は外国において公然知られた意匠
- 二 意匠登録出願前に日本国内又は外国において、頒布された刊行物に記載された意匠又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となつた意匠
- 三 前二号に掲げる意匠に**類似する意匠**

(第2項略)

類否判断の方法

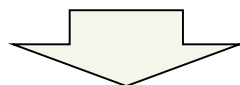
- 両意匠の**要旨**の認定
- 意匠に係る**物品**の用途・機能についての**共通点及び差異点**の認定
- **形態**についての**共通点及び差異点**の認定
- **共通点及び差異点**の評価

- (1) その形態を対比観察した場合の、注意を引く部分か否かの認定及びその注意を引く程度の評価

共通点や差異点の形態が、意匠全体に対して占める割合が大きい小さいか、物品の特性に基づき観察されやすい部分か否か、等により行う。

- (2) 先行意匠群との対比に基づく、注意を引く程度の評価

共通点や差異点の形態が、先行意匠において公然知られているか否か、ありふれているか否か、等により行う。

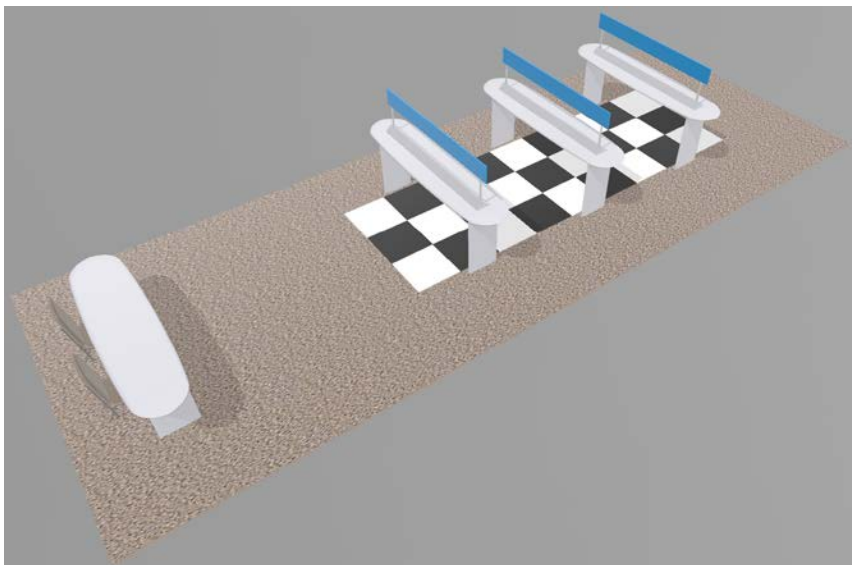


共通点及び差異点を意匠全体として総合的に観察・評価して最終的な類否判断を行う。

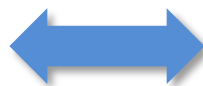
■ 形態の類否 - 什器の形態の評価

什器の形態における相違が僅かであり、床面と什器との位置関係も共通している場合は、**類似**と判断

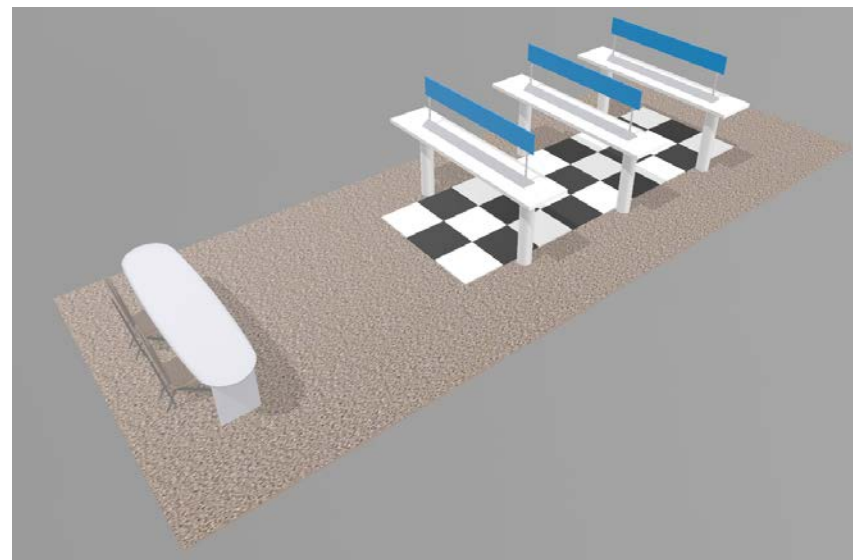
公知の意匠



類 似



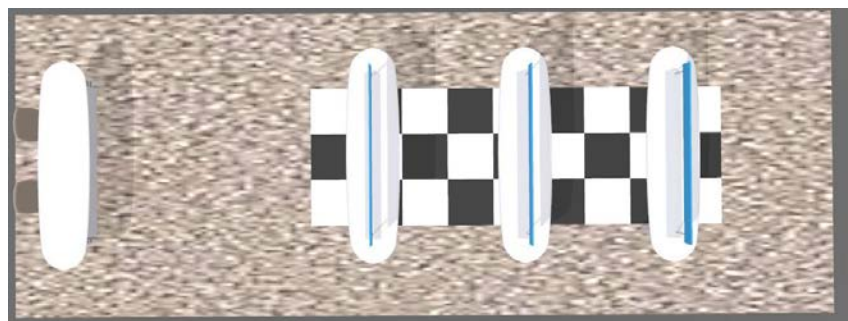
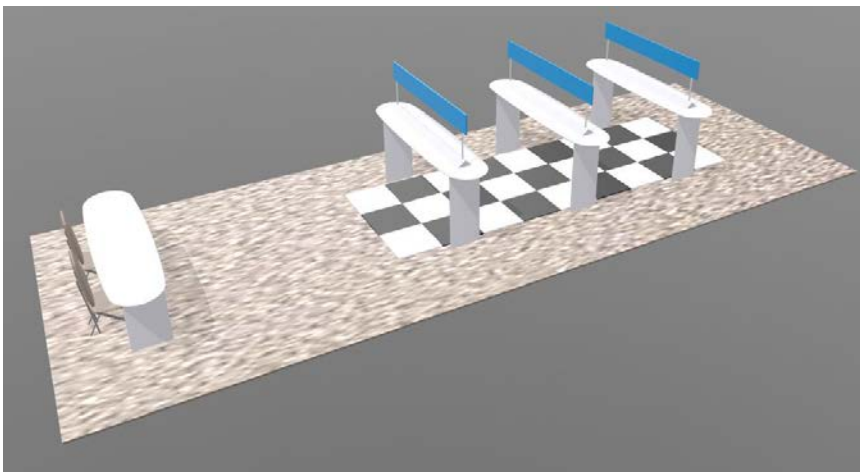
出願の意匠



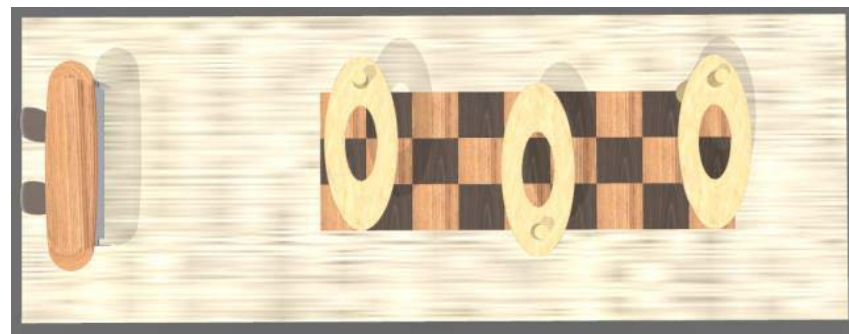
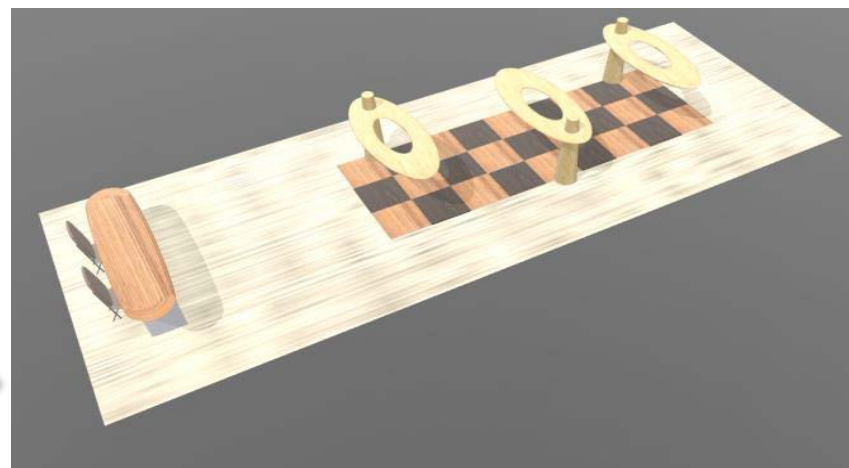
■ 形態の類否 - 什器の形態の評価

床面と什器の位置関係が共通している場合でも、個々の什器に、見る者の注意を強くひく新規な特徴がある場合は非類似と判断

公知の意匠



出願の意匠



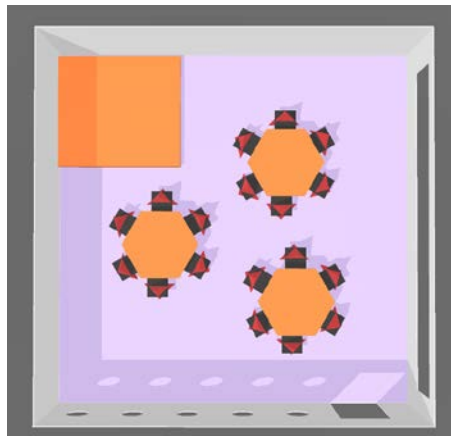
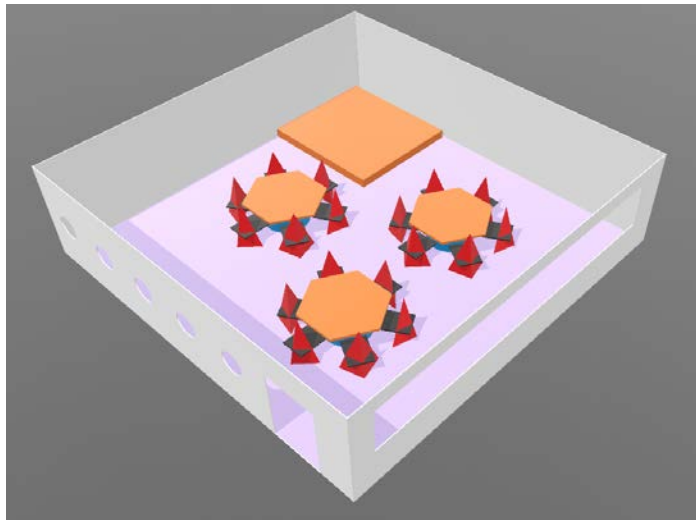
非類似



■ 形態の類否 - 什器等の位置関係の評価

床面と什物の位置関係については、見る者の格別の注意をひく新規な特徴が無い限り、**類否判断における評価は低い**

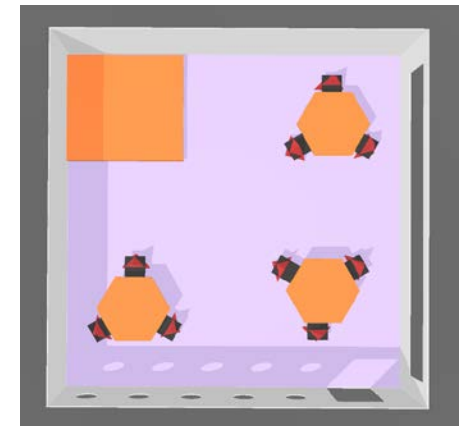
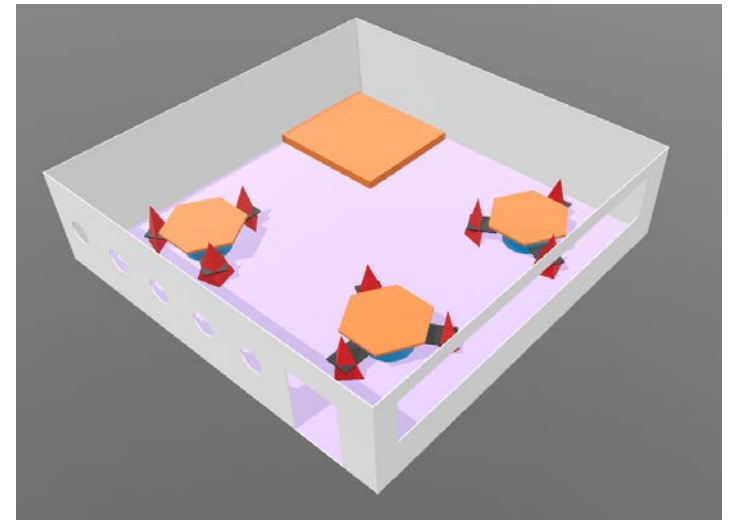
公知の意匠



類似



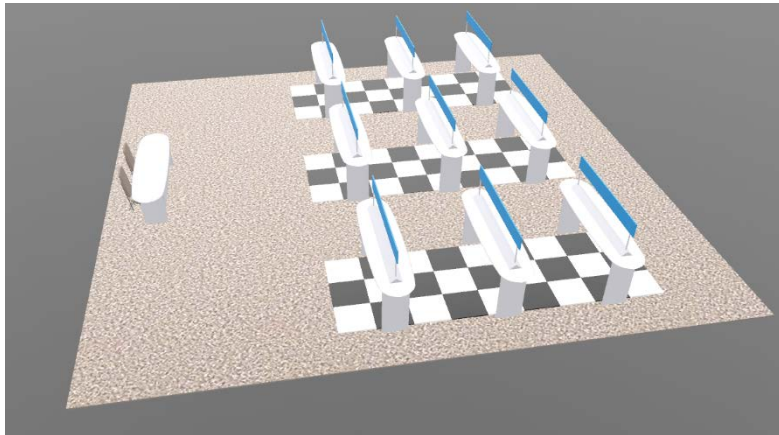
出願の意匠



■ 形態の類否 - 什器等の位置関係の評価

床面と什器の位置関係については、見る者の格別の注意をひく新規な特徴と認められる場合は、**類否判断における評価が高い**

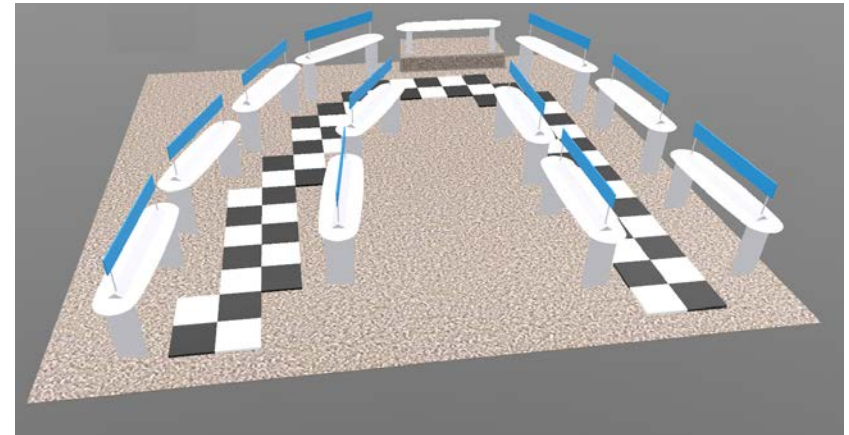
公知の意匠



非類似



出願の意匠



【特徴記載書】

この意匠登録出願の意匠は、ショールーム内にディスプレイテーブルを複数設置した内装意匠である。

ディスプレイルーム入り口から出口まで、顧客の導線を誘導しつつ全ての展示商品が視認可能となるようにテーブルを配したものである。

室内中央奥には、他部より床面を一段高くした箇所を設けており、当該箇所に設置したディスプレイテーブル上に主力商品を展示し、顧客が当該商品を注視するよう、誘導するものである。

意匠法

第三条(第1項略)

- 2 意匠登録出願前にその意匠の属する分野における通常の知識を有する者が日本国内又は外国において公然知られた形状、模様若しくは色彩又はこれらの結合に基づいて容易に意匠の創作をすることができたときは、その意匠（前項各号に掲げるものを除く。）については、前項の規定にかかわらず、意匠登録を受けることができない。

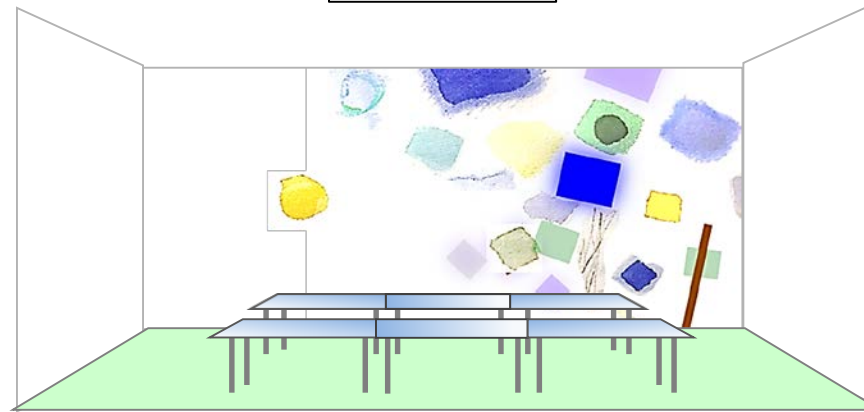
創作非容易性判断の基礎となる考え方

意匠法第3条第2項の規定の適用についての判断は、意匠の構成態様において、それらの基礎となる構成要素や具体的態様が本願出願前に公然知られ、又は広く知られており、それらの構成要素を、ほとんどそのまま、又は当該分野においてよく見られる改変を加えた程度で、当該分野においてありふれた手法である単なる組合せ、若しくは、構成要素の全部又は一部の単なる置換えなどがされたにすぎないものであるか否かを判断することにより行う。

創作容易と判断されるものの例

事例 公然知られた意匠の一部を、よく見られる改変を加えて、配置を変更して表したにすぎない意匠

出願の意匠



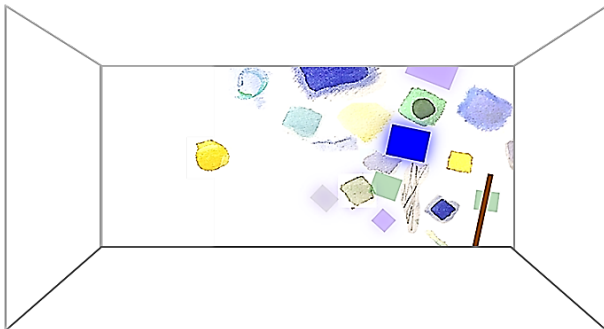
よく見られる改変
色彩の変更

寄せ集め

公然知られた意匠 1

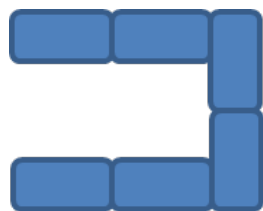
公然知られた意匠 2

公然知られた配置

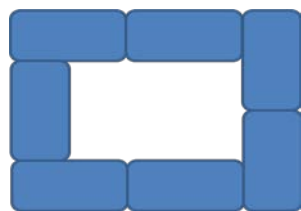


テーブル等の一般的な位置関係の例

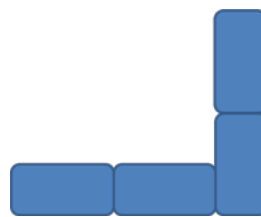
■ テーブルの配置



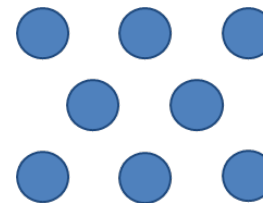
「コ」の字状に配置



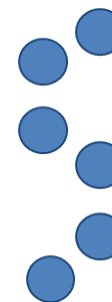
長方形に配置



「L」の字状に配置

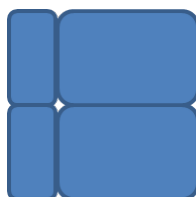


千鳥状に配置

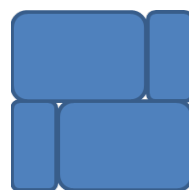


S字状に配置

■ 机の配置



対称に配置

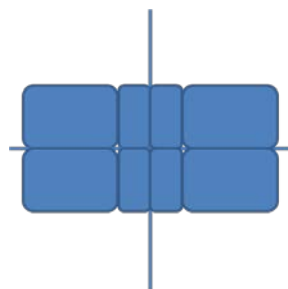


向かいあわせて配置

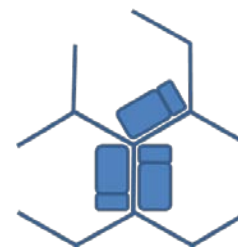


机の位置をずらし、向かいあわせて配置

■ スペース区分の配置



「田」の字状



ハチの巣（ハニカム）状